

# のぼりバツ 広報

4/1

1997

No.558



3月2日(日)、カルルス町のサンライバスキー場を会場にした冬のイベント、第33回カルルス温泉スキーまつりが行われました。

広いゲレンデでは、親子ボブスレー大会や雪中ミカン拾いなど家族そろって楽しめるイベントが行われ、「滑って転んじゃったよ」「見て、ミカンたくさん拾ったよ」とちびっ子たちは大喜び。

時折冷たい風が肌を刺す寒さにもまげず、元気なちびっ子たちが、おもいっきり冬を楽しんでいました。

## 主な内容

- ・平成9年度市政執行方針
- ・教育行政執行方針
- ・平成9年度予算
- ・きらり 第7回東北北海道文学賞を受賞  
大浜則子さん

# 平成9年度 市政執行方針（要旨）



▶ 市政執行方針を発表する上野市長

平成9年度予算案などを審議する平成9年第1回登別市議会定例会が3月5日開会し、上野市長は市政執行方針を発表しました。

市政執行方針は、登別市がこれからの1年間、どのようにまちづくりをすすめていくかを市民のみなさんに示すものです。

今回は、市政執行方針、教育行政執行方針、新年度予算の要旨をお知らせします。

## 4つの重点施策

行政改革

財政運営

地域経済の活性化

住み良いまちづくり

## 1 行政改革

◆平成9年度の市政をすすめるにあたっては、何よりもまず、最小の経費で最大の効果をあげることを基本に、すべての職員が簡素で効率的な行政の推進を目指し、自覚と責任を持って自らを高める意識を醸成するとともに、職員研修については、研修成果の点検やフォローアップ研修の充実など、より効果の上がる取り組みをすすめるほか、課単位で行う目標管理システムを通じたチーム力の強化など職員の意識改革に取り組みます。

### ◎ 事務事業の見直し

◆昨年、文化・スポーツ財団の設立を機に市民会館、総合体育館や市民プールの管理委託を行うとともに、保育事業の見直しを行い、美園保育所を鷺別保育所へ統合し、新たに延長保育を開始しました。

◆鉾山バスについては、利用者の



▲平成8年度で廃止された鉾山バス

理解を得て平成8年度で廃止し、代替措置として平成9年度は、タクシー利用券を配布します。

◆小中学校の配置見直しについては、札内小中学校をそれぞれ幌別小学校、幌別中学校へ統合することで地元関係者の理解が得られたので、平成10年度統合へ向け準備をすすめます。

◆その他の事務事業についても、市民ニーズの動向や時代の流れを把握し、より効果的な取り組みができるよう検討し、今後とも広域的な視野に立って見直しを続け、必要に応じて近隣自治体との調整を行うなどして改善を図ります。

### ◎補助金・助成金の見直し

◆補助金、助成金の見直しについては、補助団体の活動内容や助成事業の実態を精査し、補助目的に沿っているか、補助事業の効果を十分発揮しているか、補助の継続が必要かなどを総合的に検討していきます。

◆平成9年度は、町内会に対する助成金を増額します。

◆事業補助については、鬼サミット事業など5件の運営管理について



▲北海道クロスカントリーレースなど、さまざまな事業で補助金・助成金が活用されています



▲登別市について理解を深めるため毎年行われている市民見学会

で見直し、各種団体への運営補助については、自立への指導を強化するとともに団体の理解を得て改善をすすめます。

### ◎組織・機構の見直し

◆組織機構については、市民に分かりやすい機構づくりを念頭に置いて、新たな課題へ取り組める体制づくりに努めます。

◆広報広聴機能の充実強化については、企画調整室を企画広報室に改め、広報広聴活動と施策形成機能との連動を図り、より市民の声が生かされる市政運営に努めます。

◆国際観光レクリエーション都市にふさわしい国際化への取り組みをより強化するため、国際交流室を新設します。

◆民間レベルでの交流が深まってきたデンマークとの交流については、一段階すすんだ交流計画について検討します。

◆アジアとの交流を深めることが新たな課題となっていることから、その対応について検討するとともに、韓国自治体職員を研修生として受け入れます。

◆男女共同参画社会の実現のため、企画広報室に女性担当主査を配置し、女性活動の支援と女性行動計画の策定に取り組みます。

◆容器包装リサイクル法の施行や新たなごみ処理施設の建設を視野に入れ、ごみの減量化・分別排出の徹底・資源リサイクルの一層の推進を図るため、環境衛生課にリサイクル推進室を設置します。

◆行政改革をすすめるにあたっては、市が担うべき役割と市民自身に求められる役割について、市民の理解と協力を得るため、行政改革推進委員会に進捗状況などを報告し、助言をいただいています。



▲市民レベルでの交流が深まっているデンマークとの交流

## 2 財政運営

◆平成9年度の予算編成にあたっては、大規模な歳出増を伴う大型プロジェクトの実施を踏まえ、歳出の抑制に努め、特に旅費・交際費・食糧費など事務管理経費の削減を図るとともに、各種施策及び事業について、優先度・緊急度・事業効果及び後年度の負担などを総合的に勘案して、厳しい選択を行いました。

◆一般会計規模は237億2千万円となり、対前年比8.7パーセントの伸びとなりましたが、新ごみ処理施設建設事業費を除いての伸び率は0.16パーセントにとどまっています。

◆長期的な視点にたつて健全な財政運営に努めながら、起債制度の積極的な活用を図ります。

◆消費税率の引き上げ及び地方消費税の導入に伴う税負担の転嫁については、し尿処理手数料、下水道使用料、給食費及び水道料について、適正な転嫁を行います。

◆国民健康保険事業は、医療保険制度の一部改正と国保会計の財政状況を踏まえ、単年度収支の均衡を図ることを基本とし、国民健康保険税について中間所得者の負担軽減と被保険者間の税負担の公平

を保つよう、税率の改正を行います。

改正の内容については、所得割を引き下げ、資産割を廃止するとともに、均等割、平等割を引き上げます。

低所得者に対する税の軽減措置については、現行の6割軽減、4割軽減を、それぞれ7割軽減、5割軽減とし、新たに2割軽減措置を設けます。

課税限度額については、現行の48万円を50万円に引き上げます。



▲国民健康保険事業のひとつ、市民健康まつり

### 3 地域経済の活性化

◆地域経済の活性化については、商工会議所や観光協会など関係団体と連携して、昨年設立された「札幌のほりべつ会」と地元企業とのネットワーク形成を図り、札幌圏でのビジネスチャンスを広げるとともに、産業フェアの開催やビジネス交流会などへの参加について支援します。

◆観光の振興については、より魅力ある観光地としての受け入れ態勢整備に努めるとともに、観光協会が取り組む四五〇―一八〇誘客活動を支援します。

◆農水産業や加工製造業など地場

企業と観光産業との連携を深め、登別型の産業構造の複合化に努めます。

◆札幌地区の商店街近代化については、駅西口の街区再編を含めた周辺整備と北駅前通りの街路整備をすすめる、富士橋大通り商店街の近代化事業を引き続き支援します。

◆登別温泉については、バイパス事業の建設の促進を図るとともに「登別温泉地区市街地総合再生計画」の熟度を高め、登別温泉商店街の活性化への取り組みを支援します。

◆農林水産業については、引き続き、農道や営農用水、漁港など生



▲札幌のほりべつ会の発足で、札幌圏でのビジネスチャンスが、ますます広がります

産基盤の整備をすすめるとともに、観光との結びつきを強めるための中山間地域活性化の調査計画に着手するほか、生産物の特色ある加工の取り組みを支援します。

### 4 住み良いまちづくり

#### ◎都市基盤の整備

◆公共下水道事業については、事業完成までに膨大な費用と年数を要するので、効率的な面整備に努めるほか、汚水処理量の増大に合わせた終末処理施設の増設を図るなど、事業規模に見合った適切な投資と健全な財政運営に努め、その促進を図ります。

平成9年度は、新たに若山町・富岸町・新生町への拡大に向け、幹線管渠及び面整備をすすめる、一部地区での年度内の供用開始を期していきます。

登別東処理区については、登別温泉地区における事業のあり方を含め、事業計画の最終の詰めを行っています。

### 平成9年度予算

3月25日に閉会した平成9年第1回登別市議会定例会で、平成9年度予算が可決、成立しました。

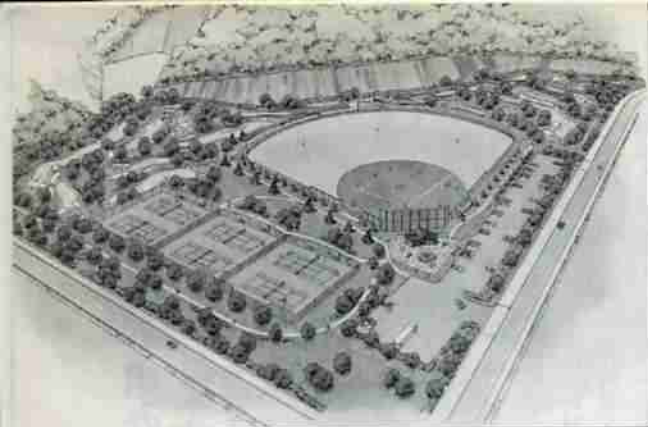
平成9年度予算額は、一般会計23億7千万円、特別会計と水道会計を含めた総額は39億8千135万円となり、平成8年度の当初予算と比較すると7.7パーセントの増になっています。

今年度の予算は、2年目を迎える新しい総合計画に基づくまちづくりを視野に入れ、新ごみ処理施設の建設という大型プロジェクトの実施を踏まえて編成されています。

#### 各会計予算総括表

(単位 千円)

会計区分	平成9年度予算額	伸び率(%)
一般会計	23,720,000	8.7
特別会計		
国民健康保険	4,232,400	2.9
学校給食事業	413,200	4.3
公共下水道事業	2,745,300	△0.7
老人保健	6,092,900	6.0
水道事業会計	1,977,550	28.4
合計	39,181,350	7.7



▲今年度完成予定の岡志別の森運動公園（完成予想図）

◆上水道事業については、登別温泉街への安定供給と消防用水を確保するため、登別温泉高区配水池を建設するとともに、災害時における給水確保のための給水区域プロジェクト事業を引き続きすすめます。

また、懸案の石綿管や老朽配水管改良事業の促進に努めます。

◆水道料金については、平成2年10月の改定以降、これまで据え置いてきましたが、この間、分水料金の三度にわたる改定や経営費用の増嵩により、平成8年度において給水原価が料金を上回る見込みとなりました。

このような状況のなか、良質な水の安定供給を図るためには、新たな配水池の建設や浄水場の整備、老朽配水管の改良など多額の費用を要するので、平成9年度において水道料金の改定を行います。



▲市道2路線で、新たにロードヒーティング化されます

### ◎道路の整備

◆国道、道道など基幹的な道路網の整備を図るとともに、これに連動した幹線市道の整備に努めることとし、引き続き、環状通、円山通など都市計画道路の整備をすすめるとともに、石山通、登別富浦路線、カルルス路線、富岸西路線など幹線市道の整備を促進します。

◆坂道の冬の安全対策については、実験的に行ったロードヒーティングの結果が良好なことから、平成9年度において緊急を要する2路線について実施します。

◆歩行者の安全確保を図るため、引き続き、鷺別旧墓道路線、美園57号線などの歩道新設事業や街路灯の増設をすすめます。

### ◎都市公園の整備

◆平成8年度着手した「(仮称)千歳グリーンパーク」を都市公園

### ◎公営住宅の整備

「岡志別の森運動公園」として整備し、平成9年5月には野球場のオープンを期します。

◆平成7年度に着手した富岸公園については、平成9年度の完成を目指し、整備をすすめます。

◆登別温泉団地の平成9年6月完成を期すとともに、桜木団地については、道営住宅の完成後、市営住宅の建設に着手します。

◆市営住宅や団地内集会所については、高齢者や障害者が安心して利用できるよう、引き続き、浴室・トイレなどへの手すりの設置や各室の段差解消をすすめます。

◆民間住宅と公営住宅を含めた将来の総合的な住宅政策に資するため、市内における住宅事情の把握を行い、住宅マスタープランの策定に取り組みます。



▲6月完成予定の登別温泉団地

## 一般会計歳入

(単位 千円)

款	平成9年度予算額	構成比(%)	伸び率(%)
市 税	5,614,830	23.7	3.1
地方交付税	4,706,700	19.8	6.6
市 債	3,486,200	14.7	73.5
道支出金	2,999,893	12.6	18.3
国庫支出金	2,549,683	10.7	△ 2.0
繰入金	1,441,409	6.1	△11.2
諸収入	1,262,286	5.3	△ 4.8
使用料及び手数料	731,968	3.1	△ 3.8
その他	927,031	4.0	34.4
歳入合計	23,720,000	100.0	8.7

## 一般会計歳出

(単位 千円)

款	平成9年度予算額	構成比(%)	伸び率(%)
議会費	200,963	0.9	0.2
総務費	1,205,827	5.1	3.1
民生費	4,699,913	19.8	4.3
衛生費	2,383,660	10.1	201.3
労働費	332,407	1.4	△ 5.3
農林水産業費	244,769	1.0	33.9
商工費	652,279	2.8	0.0
土木費	5,381,828	22.7	△ 3.8
消防費	342,450	1.4	96.1
教育費	1,220,199	5.1	8.1
公債費	1,953,508	8.2	8.0
給与費	5,082,197	21.4	△ 2.9
予備費	20,000	0.1	0.0
歳出合計	23,720,000	100.0	8.7

## ◎防災への取り組み

◆総合的な防災体制の確立を目指して総合防災センターの建設を重点プロジェクトと位置づけ、そのあり方や機能など建設に向けての具体的な検討をすすめるとともに用地の確保を図ってきましたが、平成9年度は他の大型プロジェクトとの調整から着手を見送ることとなりました。

しかし、登別温泉をはじめ市内の中高層建築物などの火災に対応するため、はしご付き消防ポンプ自動車を導入するとともに、災害

時の水利確保のため、引き続き、大容量防火井戸の増設と消火栓の整備をすすめます。

◆「地域防災計画」の見直しについては、これまで非常配備体制や職員の参集基準の明確化、活動内容の具体化など、災害時に最も必要とされる初動体制の強化を図ってきましたが、平成9年度は、国

の防災基本計画や道の地域防災計画との整合に留意し、さらに必要な見直しを行います。

◆自主防災組織が取り組む防災資器材の整備について助成します。  
◆災害危険地区に配置した地域防災担当職員に移動系防災行政無線機を装備し、迅速で正確な情報の収集と伝達に努めます。

## ◎廃棄物の処理と環境保全への取り組み

◆新たな一般廃棄物処理施設の建設については、本市始まって以来の大型プロジェクトとなることから、施設のあり方はもとより、将来の収集体制や分別のあり方、あるいは再資源化の方法などを含め総合的に検討をすすめるとともに、事業実施手法についても種々検討を重ねた結果、総事業費89億円を見込み、建設に着手します。

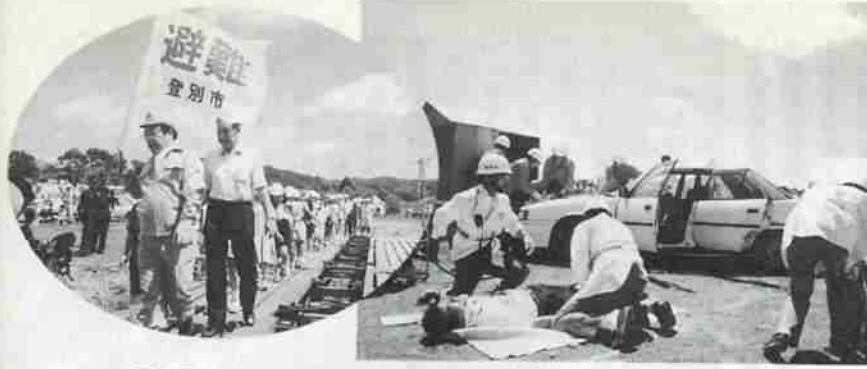
◆新施設の建設にあたっては、下水道汚泥も混焼でき、有害物質を排出しない高性能な焼却能力をもつ中間処理施設、市民参加型のリサイクルプラザ、可能な限り環境

へ配慮し恒久的に安全性を確保できる最終処分場など、環境重視型の施設を総合的に建設することとし、平成10年度の完成を期します。  
◆産業廃棄物の処理については、今後も生活環境と自然環境の保全を図るため、「土地利用計画」と「産業廃棄物処分場の設置等に関する取扱方針」に沿って、産業廃棄物の適正処理にかかる指導監督の強化や、広域的視点に立った処理施設の設置に関する調整などについて、北海道及び関係機関に要請してまいります。

## ◎人にやさしいまちづくりへの取り組み

◆広くノーマライゼーション理念の普及を図るとともに、家庭や地域あるいは行政と民間関係団体と

の適切な役割分担のもと、個々のケースに見合う適切なサービスの提供に努めます。



▲平成7年度に行われた総合防災訓練のようす  
今年度は富岸地区で行われます

教育用コンピュータ導入経費	1,660万円
小学校校舎等整備事業費	3,918万円
中学校屋内運動場暖房設備設置事業費	441万円
西陵中学校校舎大規模改造事業調査費	2,870万円
市民会館エレベーター設置事業費	5,940万円
鮎登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金	739万円
鮎登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金	914万円
岡志別の森運動公園新設事業費	2億7,050万円
(その他)	
公共施設管繕費	9,555万円
市道常時補修費	7,350万円
公営住宅補修費	1億3,477万円
<b>【学校給食事業特別会計】</b>	
学校給食センター整備事業費	3,126万円
<b>【公共下水道事業特別会計】</b>	
公共下水道事業費	17億6,615万円
<b>【水道事業会計】</b>	
配水管新設事業費	1億5,030万円
配水管改良事業費	7,000万円
配水管移設事業費	1億2,650万円
幹線配水管整備事業費	2億2,320万円
登別温泉高区配水池新設事業費	3億2,700万円

(仮称)温泉地区商店街活性化推進協議会運営補助金	100万円
登別観光協会助成金	2,250万円
登別観光振興特別対策事業補助金	5,000万円
(土木費)	
市道改良・舗装事業費	6億3,911万円
市道舗装排水整備事業費	4億9,300万円
道道改良受託事業費	23億7,088万円
河川改修事業費	4,535万円
公園整備・新設事業費	8,090万円
街路事業費	2億1,865万円
防衛施設周辺整備事業費	7,718万円
既設公営住宅団地高齢化対応改善事業費	520万円
公営住宅建替に伴う解体等経費	2,557万円
公営住宅(登別温泉団地)建替事業費	1億2,534万円
公営住宅(桜木団地)建替事業費	8,968万円
(消防費)	
消防用機器整備事業費	1,153万円
はしご付消防ポンプ自動車購入費	1億7,670万円
消火栓新設事業費	1,100万円
大容量防火井戸新設事業費	1,960万円
地区防災担当職員用携帯無線機器等整備費	848万円
(教育費)	



▲今年度から本格実施される給食サービス

◆都市施設のバリアフリー化については、利用度の高い公共施設にエレベーターや車いす利用者用トイレを順次設置することとし、平成9年度は、市役所本庁舎と市民会館にエレベーターを設置します。

◆今後さらに需要の増大が見込まれる特別養護老人ホームについては、運営主体がショートステイやデイサービス機能を含めた増設計画をすすめていますので、その実現に向け支援していきます。

◆高齢者や障害者のデイサービス事業については、今後増加するニーズへの対応に民間の協力も得ることとし、平成9年度は、新たに患愛病院が行う痴呆性・脳血管疾患高齢者に対するデイケアを支援するため、移送サービス用車両を購入します。

◆独居老人などへの給食サービスについては、60名を対象に週2回のサービスを実施するとともに、高齢者緊急通報については、新たに熱・煙・ガスの感知や日常生活相談などの機能を加えた新しいシステムに切り替えます。

◆障害者の社会参加を促進するため、民間による共同作業所の設置が計画されていますので、施設の整備や事業運営に必要な支援を行います。

◎安心して子どもを産み育て、健全な育成を図ることができ環境づくり

◆働く女性の仕事と育児の両立を支援するため平成8年12月にスタートしたファミリーサポートセンターについては、参加会員の増加など徐々に広がりを見せているところですが、なお依頼会員数と提供会員数に格差がありますので、調整を図りながら適切な運営と利用の拡大に努めます。

◆今後の子育て支援については、特別保育や放課後児童対策の拡充、子育てに役立つ情報の提供などについて、民間の活用をも図りながら積極的に取り組めます。

◆母子保健法の改正に伴い、これまで北海道が行っていた3歳児健診、妊産婦健康診査などの母子保健事業が市に委譲されることとなりました。

妊娠、出産から育児までの母子保健について、一貫したサービスの提供を図るとともに、3歳児健診については隔月から毎月の実施に変えるなど、育児支援・相談・指導を充実していきます。

◆学校教育施設の整備については、



▲子どもたちが健やかに成長できる環境づくりに努めます

◆西陵中学校校舎の大規模改造に向け実施設計に取り組みます。

◆西陵中学校校舎の大規模改造に向け実施設計に取り組みます。

## 平成9年度の主な事業などの予算額

(1万円未満は切り捨てて表示しています)

### 〈一般会計〉

#### (議会費)

議会だより発行経費……………182万円

#### (総務費)

OA化推進に要する経費……………2,392万円

職員研修等経費……………853万円

国際交流に要する経費……………1,022万円

本庁舎エレベーター設置事業費……………8,190万円

いきいき推進事業補助金……………300万円

#### (民生費)

鉾山地域住民タクシー利用経費……………107万円

町内会運営助成金……………3,503万円

福祉移送バス購入費……………1,315万円

地域福祉活動促進事業補助金……………863万円

身体障害者デイサービスに要する経費……………2,282万円

心身障害者地域共同作業所運営補助金……………918万円

(仮称)美園会館整備事業費……………1,000万円

独居老人等緊急通報システム機器設置・業務委託に要する経費……………2,434万円

仕事と育児両立支援事業費……………1,050万円

在宅介護支援センター運営に要する経費……………1,256万円

在宅老人デイサービスに要する経費……………4,203万円

交通安全施設整備事業費……………1億359万円

(衛生費)

母と子の健康づくり事業に要する経費……………1,239万円

千歳最終処分場整備事業費……………2,300万円

新ごみ処理施設建設事業費……………18億6,908万円

(労働費)

登別市シルバー人材センター補助金……………1,100万円

勤労者特別融資積立金……………2億6,500万円

雇用対策支援事業費……………3,587万円

(農林水産業費)

札内営農用水施設整備事業負担金……………6,353万円

畜産環境モデル集落整備事業補助金……………325万円

来馬第1地区道営農免農道整備事業負担金……………2,587万円

西札内地区道営農免農道整備事業負担金……………1,237万円

鉾山地区農道整備特別対策事業負担金……………1,000万円

中札内地区緊急畑地帯総合整備事業負担金……………2,275万円

中山間地域活性化推進に要する経費……………1,290万円

登別漁港整備事業負担金……………640万円

鷺別漁港整備事業負担金……………2,040万円

(商工費)

中小企業特別融資積立金……………4億6,800万円

# 教育行政執行方針

## 1 学校教育の充実・振興について

### ◎学校教育について

◆学校教育においては、「自らが学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力」を重視する、いわゆる新しい学力観に立って、それぞれの学校が地域の特性を踏ま

え、道徳・教科・特別活動の三領域を調和させた適正な教育課程を編成し、日常の教育活動において系統的・計画的に実施することが大切です。

また、質の高い教育をすすめるためには教員の資質・能力に期待されることが大きいことから、これまで積極的に教員研修をすすめて、大きな成果を取りました。

平成9年度も、新規6校を含め12校を研究校として指定するとともに、各学校での研究を一層奨励し、教員研修の充実に努めます。

◆札幌小中学校については、地域住民の理解を得て、平成10年4月1日をもって、幌別小学校、幌別中学校にそれぞれ統合します。平成9年度は、統合が円滑に行われるよう、統合先の小・中学校で、学校行事や教科学習などでの「交流学習」をすすめます。

◆小学校の水泳指導については、



▲平成10年度統合されることになった札幌小中学校

### ◎生徒指導について

◆「いじめ」や「登校拒否」の問題については、平成8年度も最重点に取り上げ、各種会議や事業を

積極的に推進してきました。各学校においては、教職員研修をはじめ、全領域での指導方法に工夫・改善をするとともに、校内指導体制の充実に努めてきました。特に「いじめ」については、

「いじめ相談電話」や「教育相談電話」の活用を周知するとともに、指導資料を学校や家庭に配布するなど、きめ細かな手だてを講じてきました。

平成9年度は、新たに児童生徒向けの学習資料を作成し、配布します。

◆登校拒否児童生徒への対応については、これまでも教員を対象とした研修会、該当児童生徒と父母

### ◎健康・安全について

◆事故から身を守る習慣形成を目指すとして、「交通安全教室」を開くなど、日常的・継続的に交通安全意識の一層の高揚に努めます。

◆市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全クラブ」の活動に対して、より実効があがるよう支援します。

### ◎学校給食について

◆多様化する児童生徒の嗜好を考慮しながら、栄養のバランスを確保し、かつ、安全で信頼される楽しい給食にするため、食中毒防止の徹底を図り、より一層衛生管理

を対象とした自然体験や宿泊研修、父母に対する啓もう資料の作成・配布、専門職員による教育相談、家庭・学校訪問の実施、臨床心理士による該当児童生徒の父母懇談会の開催など、積極的な対応をしてきました。

今後も、これらの対応についてさらに検討を加え、学校・家庭・地域・関係機関との連携を一層深め、一人でも多くの児童生徒の心の悩みが解消され、自立できるよう努めます。

◆個別中学校にスクールカウンセラーを継続して配置するとともに、生徒指導担当教諭が引き続き配置されるよう要望していきます。



▲より安全で楽しい給食を目指します

◆平成9年度は新たに、食缶消毒保管庫を設置します。



◆給食費については、米飯給食の回数を増やすなど、給食内容の一層の充実を図るとともに、平成9年4月1日から消費税の税率が引き上げられますので、小中学校それぞれ月額100円を値上げします。

## ◎国際理解教育について

◆引き続き、「外国青年招致事業」「中学生海外派遣事業」を実施し、生きた外国語の学習や国際交流活動を体験させるとともに、姉妹校との交流活動を支援します。

◆姉妹都市「白石市」との交流については、文化・スポーツの相互交流を引き続き行い、友情のきずなが一層深まり、成果が新しい世代に引き継がれるよう努めます。



▲白石市との交流は文化・スポーツの相互交流を引き続き行います

## ◎学校図書について

◆引き続き、学校図書の整備・充実を図るとともに、図書の活用につ

いてもさらに促進されるよう努めます。

## ◎幼稚園教育について

◆各幼稚園において、地域の特性を生かし、幼・小一環教育を見据えた教育課程の編成に工夫を凝らし、各園間の研究交流を深めるなど、教育活動の一層の充実を図られるよう努めます。

## ◎学校教育施設などの整備について

◆西陵中学校校舎の大規模改造事業をすすめるため、耐震診断及び実施設計をします。  
◆屋内運動場の暖房未設置の小・中学校に補助暖房を設置し、若草小学校の各教室の暖房を個別暖房に改修します。  
◆各学校の施設は、それぞれ老朽化の課題をかかえています。今後とも、学校運営に支障のないよう維持管理に努めます。

# 2 社会教育の充実・振興について

## ◎成人教育について

◆市内の団体・サークルが主体的に企画・運営する「マイプラン講座」を奨励するとともに、公民館をはじめ各種施設を有効に活用した「公民館講座」の充実に努めます。

◆婦人短期大学の学習内容や運営などについては、一層工夫・改善し、その充実を図るとともに、女性団体の活動がより主体的、積極的に進められるよう支援します。

◆老人大学や大学院については、学習者の意向を取り入れながら学習内容の改善・充実を図るとともに、これまで学び得た知識や豊かな体験などが生かされるよう支援

します。

◆家庭教育学級については、引き続き「モデル学級」を指定するなど、より家庭教育の充実が図られるよう努めます。

## ◎青少年教育について

◆近年、青少年の問題行動はますます悪質化・低年齢化しています。これまでも、街頭指導や特別巡回指導を強化したり、「大型店非行防止連絡会」を定期的に開くなど、青少年の非行防止に努めてきました。引き続き、地域の育成団体などとの連携を一層密にし、青少年の健全育成に努めます。



▲体験学習の場として文化伝承館を広く活用します

## ◎芸術・文化の振興について

◆文化協会をはじめ関係団体との連携を図るとともに、3市の文化ネットワークを形成するなど、地域文化の振興に努めます。  
◆「小学校合同芸術祭」や「中学校音楽祭」を引き続き開催します。  
◆体験学習や、郷土芸能の保存・継承、伝統工芸などの製作実技講習会の場として、「文化伝承館」を広く活用します。

## ◎スポーツの振興について

◆体育協会をはじめ関係団体との連携を深め、スポーツの底辺の拡大と競技力の向上を図り、一層スポーツの振興に努めます。  
◆「岡志別の森運動公園」については、市内初の夜間照明を備えたテニスコートを整備するとともに、野球場の供用開始を記念して開催

される「全日本学童軟式野球大会北海道大会」を支援します。  
◆平成8年に発足した「財団法人登別市文化・スポーツ振興財団」の事業がより円滑に行われるよう支援します。

## ◎図書館について

◆利用者の幅広いニーズに対応できるように、道立図書館や近隣図書館との連携を密にし、広く資料や情報の収集に努めるとともに、市民に一層親しまれる図書館の運営に努めます。  
◆北海道立図書館情報システムに加入し、サービスの向上を図ります。

## ◎生涯学習について

◆施設の有効利用を含めて、成果の発表の場の整備と機会の拡充を図るとともに、ボランティア活動の条件整備にも努めます。  
◆伊達市で開催される「第2回胆振管内生涯学習フェスティバル」並びに函館市で開催される「第2回北海道生涯学習フェスティバル」に参加します。  
◆これからも、学校教育と社会教育が一層連携を密にし、市民への学習機会の提供・拡充を図るとともに、これまで実施してきた事業にさらに検証を加え、市民の学習ニーズに応えるよう努めます。



できた!

## わたしだけのひな人形



2月22日(土)、文化伝承館でひな人形づくり体験学習が行われ、児童や親子連れ約120名が参加しました。毎年開催され、4年目を迎えた今年のひな人形づくりのテーマは、「竹びょうぶびな」。

竹びょうぶびなは、九州の方から善意で送られた竹をびょうぶに、和紙でつくられた内裏びなを付けるというもの。

子どもたちは、事前にボランティアの方が用意したパーツを手に、竹びょうぶびなづくりを楽しんでいました。

## すすかけ作業所員 ティーボールで野球気分

### 「すごくおもしろいよ」

ティーボールは、国際野球連盟が考案した野球競技のひとつで、投手がボールを投げる代わりに、ホームベースの上に立てたティーボールを置いて、ボールを打ってベースを回る競技。

2月25日、小規模通所授産施設「すすかけ作業所」(しんた21内)の通所員は、日本野球連盟北海道地区連盟から贈られたティーボールを使用して、初練習を行いました。

この日は、しんた21の多目的ホールを使っての練習。通所員は、大きな空振りを繰り返したあと、ナイスバットティング。通所員は、「これから暖かくなると野外でティーボールができるよ」と、話していました。



平成8年度 登別市防災研修会



講師 文化庁 防災課長 田中 浩二

## 備えあればうれいなし

### 災害の知識を学ぶ「防災研修会」

2月25日(火)市民会館で、市主催の防災研修会が開かれました。

研修会には、市民約120名が参加し、「地震と津波の発生メカニズムと発生時の対応」をテーマに、室蘭地方気象台防災業務課長の斎藤昭文さんによる講演とビデオ映写が行われました。

斎藤さんの講演では、津波警報が発表されたときの避難の方法や気象情報の伝達などの説明が行われ、特に地震については、「登別の周辺地域には活断層が見当たらず、過去に大地震は発生していないが、普段の災害に対する心構えは必要」との説明に、参加者はうなずいていました。

会場には、防災コーナーが設けられ、救急用品や貴重品袋、非常食などが紹介されました。

# 東 奔



## のほりべつ春の音楽祭'97



登別出身者や登別に在住している優れた音楽家たちによるコンサート「のほりべつ春の音楽祭'97」（登別市教育委員会、登別市音楽協会主催）が、3月2日（旧）市民会館で開かれました。

この日、舞台に立ったのは登別にゆかりのある音楽家18名で、ピアノやバイオリン、声楽などジャンルも豊富で、4名が2台のピアノを弾くという迫力ある演奏もあり、会場をうめた観客からは大きな拍手がおこられていました。

すばらしい演奏の数々に、市民からは、「登別にゆかりのある音楽家があんなにいることは、登別の財産です。これからも続けてほしいですね」と、感想の声がかれました。

## 登別ゆかりの音楽家の共演

### のほりべつ春の音楽祭'97



## 123名が晴れやかに卒業 登別市老人大学・大学院卒業式

2月28日（金）、市民会館で登別市老人大学・大学院卒業式・修了式が行われました。

この日、老人大学を卒業したのは115名。また、老人大学院を卒業したのは8名で、123名の卒業生が、上野市長から卒業証書を受け取りました。

老人大学院を卒業した8名には、ハーモニカ博士、ジョギング博士、クンシラン博士など、それぞれの得意分野にちなんだユニークな博士号が贈られました。

卒業生謝辞では、4年間皆勤賞だった宮城隆さんが代表し、「楽しい思い出ができ、大きな財産となりました。これからは豊かな自己実現を図るよう努力します」と、これからの抱負を述べていました。

## 仲間たち

共に助け合い、一緒に楽しく

## 登別ブラインドボランティアの会

会長 泉

芳子さん  
☎031663



登別ブラインドボランティアの会は、平成6年に、登別視力障害者協会のお手伝いをしてきた方が集まり結成されました。

現在、会員は9名で、主に視力障害者協会の方が参加する行事などでのガイドヘルプ活動をしています。

ほかにも、フリーマーケットに参加したり、ふれあい広場でガイドヘルプ体験を行ったり、また、視力障害者協会会員との交流も盛んに行っています。

会長の泉さんは、「会員はみんな、あたたかい気持ちで障害者としてふれあい、協力しながら無理なく活動しています。視力障害者協会の会員さんは

みなさん前向きで、こちらが元気づけられることも多いです。レクリエーションなど、障害者もボランティアも関係なく、みんな一緒に楽しんでいます」と、話してくれました。

また、会員の榎さんは「街で目の見えない人が困っていたら気軽に声をかけてほしいです。ガイドヘルプをしてみたい方がいれば、いつでも講習しますので、ボランティアの輪が広がるといいですね」と、話してくれました。

登別ブラインドボランティアの会では、協力してくれる方を募集しています。詳しくは、泉さんまでご連絡ください。

# き★らり

## 第7回東北北海道文学賞を受賞

おお はま のり こ  
**大 浜 則 子 さん (桜木町)**



「周囲の反響は  
 ずいっとしてしまいました。夢なら覚  
 めないでほしいと思う毎日です」

「みんな喜んでくれていきます。  
 家族は、私が書くことについて、  
 普段は無関心なんです、今回の  
 受賞で少しは関心を持ってくれた  
 かなと思っています」

「受賞作品は  
 「わりと長い期間かけて書いた  
 作品で、農村の嫁不足の問題をテ  
 マにしています。完成まで2年間  
 くらいかかりましたね」

「もともと書くことは好きだっ  
 たんですが、「市民  
 文芸のほりべつ」口  
 号の時に、創作の応  
 募がまったくないと  
 いう記事を新聞で見  
 て、書いたのが始ま  
 りで、今年で15年た  
 ちました。」

「受賞の感想は  
 「私は、今までマイペースで書  
 いてきたんですが、気が付いたら  
 50歳を過ぎていたんです。それで、  
 これからの10年間くらいはしっか  
 り凝縮した生活をした」と思い、  
 初めて東北北海道文学賞に応募し  
 ました。」

「この賞は、東北・北海道地域の  
 在住者や出身者などを対象に小説  
 募集をしているもので、私にとっ  
 て初めての大きな賞となりました。  
 受賞の連絡を受けた時、信じら  
 れずに「佳作ですか」と、おもわ  
 は、自分が主人公に  
 書くことの楽しさ  
 最後、これからの目標をたず  
 ねると、「さらに上をねらいたい  
 です。具体的には……。いわない  
 でおきます」と、にこやかに話す  
 大浜さん。これからも深みのある  
 作品を書き続けてください。」



受賞作品が掲載された「文芸東北」を手に  
 受賞を喜ぶ大浜さん

### いまいき ボランティア

指よ この愛を伝えて！  
 二重障害を超えた心あたたまる交流

若草町の  
 井上ハルヨ  
 さんは、個  
 人ボランティア  
 として、  
 視力と聴力の  
 機能を失った二  
 重障害を抱える小  
 玉トメさんと、心あた  
 たまる交流をしています。

井上さんは、7年前に小玉さ  
 んと出会い、それまで外出もな  
 かなかできなかった小玉さんの  
 願いをかなえようと、買い物や  
 花見、旅行などを一緒に楽しん  
 でいます。

小玉さんは、目が見えないこ  
 とに加えて耳が聞こえないため、  
 手のひらに指で文字を書いて会  
 話するそうです。

井上さんは、買い物や旅行の  
 ときなど、周囲のようすや景色  
 など、少しでも多くのこと伝え  
 たいと、一生懸命  
 命指文字で伝え  
 ます。

しかし、井上  
 さんが伝えなく  
 ても、小玉さん  
 は、草花などは  
 自分の手に触れ  
 て香りをかいで  
 名前が分かり、  
 洞爺湖の花火を



「買物のようす。服の色や  
 値段など、指文字で話して  
 います」

井上さんは、「自分を母親の  
 ように慕ってくれる小玉さんの  
 ためにも、小玉さんを支えるた  
 くさんの人の善意に応えるため  
 にも、私の指がかけはしになる  
 なら、これからも喜んでその愛  
 を伝えていきたい」と、話して  
 くれました。

この活動を紹介したビデオテー  
 プ（VHS 16分）を貸し出しま  
 す。

この作品は、若草町の菅原光  
 子さんが作成したもの  
 で、平成8年度の北海  
 道映像作品コンクール  
 優秀賞を受賞しました。  
 貸出希望の方は、ボ  
 ランティアアセンターへ  
 ご連絡ください。

▼問い合わせ 登別市  
 社会福祉協議会ボラ  
 ンティアアセンター  
 (☎0860)

# あらがると

## 情

### 給食サービス

#### ご利用ください

市は、食事を作ることに精神的、身体的負担を感じているお年寄りの方や身体に障害のある方のために、自宅までお弁当を配達する給食サービスを4月中旬より実施します。

▼対象 市内に居住する病気や障害のある概ね65歳以上の方、または身体に障害のある方で、食事を作ることが困難な方

▼募集人員 60名

▼利用料 1食500円

▼利用回数 週2回(月曜日と水曜日または火曜日と木曜日のみ)

▼申し込み・問い合わせ

保健福祉課(☎0100)

または総合在宅ケアセンター

(☎2221)

### 自転車には

#### カギと名前と登録を!

みなさんは自転車に防犯登録をしていますか。

昨年、盗難被害にあった自転車は約2万4千台で、そのうち約7千台は防犯登録をしていなかった

ため、持ち主がわからず返すことができません。

防犯登録をしていると、もし盗難にあっても所有者が分かり、すぐに返還することができます。

防犯登録は、自転車販売店で取り扱いをしており、10年間で有効です。大切な自転車は自分自身で守りましょう。

▼問い合わせ 室蘭警察署

(☎0110)

### ふるさと北海道の

#### 確かな未来づくりに

#### みなさんのご提言を!

道央圏胆振地区の「新しい計画を語る会」を行います。会には、北海道知事または副知事の出席が予定されています。

なお、当日参加できない方も、

はがきやファクス、インターネットなどでご提言をお寄せください。

▼日時 4月22日(火) 13時30分~15時30分

▼場所 蓬棘殿(室蘭市宮の森町1-1)

▼申込方法 住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号を明記し

はがきやファクス、電話でお申し込みください(申し込みされた方へは、事前に資料を送付します)

※事前申し込みがなかった方も、当日会場で受け付けします。

▼申し込み・問い合わせ 4月11日(金)までに胆振支庁地域政策課

(☎051室蘭市幸町9-11)

### 自動車安全情報の

#### パンフレットができました

自動車事故

対策センター

は、自動車に

関する情報を、

多くの方にお

知らせし、交

通安全の推進

に寄与するた

めに、自動車安全情報のパンフレ

ットを作成しました。

詳しくは問い合わせください。

▼内容

①市販の国産、輸入乗用車のエア

バック、サイドエアバック、ア

ンチロックブレーキシステム

(ABS)などの装備状況や安

全装置の正しい使い方

②国産8社17車種、外国車1社1

車種のブレーキ性能と前面衝突

安全性試験結果

▼問い合わせ 北海道運輸局室蘭

陸運支局(☎44026)

「高齢社会におけるボランティア」

#### 講演会を行います

(出)登別青年会議所は、高齢社会についての講演会を行います。

どなたでも参加できますので、

お気軽にお越しください。

▼日時 4月9日(水) 19時~21時

▼場所 登別商工会議所3階

▼参加料 無料

▼講師 登別市社会福祉協議会

藤江紀彦さん

▼講演内容 登別の高齢社会の現

状、各種団体の活動状況

▼申し込み・問い合わせ 登別青

年会議所事務局(☎1468)

▼専門調理師・調理技能士の

国家試験のお知らせ

専門調理師・調理技能士の国家

試験は、毎年、前期と後期に分け

て実施されています。

前期は「すし料理、中国料理、

給食用特殊料理」、後期は「日本

料理、西洋料理、めん料理」につ

いて試験が行われます。

試験は、学科試験と実技試験が

あり、両方に合格すると「専門調

理師認定証書」と「調理技能検定

合格証書」が交付されます。

前期の試験は、4月1日(火)から、

後期の試験は8月18日(月)から受け

付けています。

詳しくは問い合わせください。

▼問い合わせ (出)調理技術技能セ

ンター(☎033584119

31)

### 弓道体験講座

日本の伝統武道、弓道を体験し

てみませんか。

▼日時 5月7日(水)開講

◎昼のコース(水・金曜日) 13時

~15時(全10回)

◎夜のコース(水・金曜日) 18時

~20時(全10回)

▼会場 室蘭市弓道場(室蘭市宮

の森町1丁目1-1)

▼対象 年齢、男女を問いません

▼受講料 1千円

▼定員 各コース10名(申込順)

▼申し込み・問い合わせ 4月20

日(日)までの13時~17時に室蘭市

弓道場大澤さんか松崎さん

(☎36363)

### 「わたしの愛唱歌」

#### 切手アンケートを行います

郵政省は、

子どものころ

聞いていた忘

れられない曲

や時代を越え

て歌い継がれ

る名曲を切手

にする「わた

しの愛唱歌」シリーズ切手のアン

ケートを行います。

このアンケートの結果を参考に

題材を決定し、10月から「わた

しの愛唱歌」切手の発行を予定して

います。

4月25日(金)までの募集期間中、

全国の郵便局に応募はがきを用意

しています。また、市販のはがき

での応募も受け付けています。

詳しくは問い合わせください。

▼問い合わせ 郵政省「わたしの

愛唱歌」切手アンケート実施事

務局(☎0335041428

8)または各郵便局



「わたしの愛唱歌」切手

# のぼりべつ春の風景



## 漁港に春の訪れ エビかご漁解禁

登別の海に春を告げるエビかご漁が3月1日(土)、解禁になった。エビかご漁は、エビのえさとなるキユウリウオを入れたかごを漁場に仕掛け、次の日に揚げるという漁法。初水揚げとなった4日(火)、登別漁港には、桜色に輝くボタンエビやナンバンエビなど1千600箱が水揚げされ、まずまずの漁模様で、漁港は一気に活気づいた。エビかご漁は秋まで続き、取れたエビは活魚荷さばき施設を生かし、「活エビ」として出荷される。

### 人のうごき

●人口 57,066(-66)  
●世帯 22,782(-39)  
( )は前月比  
平成9年2月末日現在

## となりまち

## ホットライン

### 室蘭市

「JFL(サッカー)公式戦」  
コンサドーレ札幌VSNTT関東

コンサドーレ札幌の道内での初戦が、今年も室蘭で開催されます。ご家族でぜひ、観戦しませんか。

▼日時 5月4日(日) 13時キックオフ

▼会場 入江陸上競技場

▼チケット前売料金 S席：2千円、自由席(一般)：1千200円、自由席(小中学生)：700円(当日券は、すべて300円増し)

▼チケット発売場所 室蘭市体育館、入江陸上競技場、音楽文化協会、丸井デパート、ローソン各店、αスポーツ

▼チケット発売は4月5日から  
(詳細) 室蘭地区サッカー協会(山本) ☎0143-6088

### 伊達市

#### 考古学シンポジウムに

ご参加ください

今、全国的に注目されている埋蔵文化財の発掘成果を直接体験できる考古学シンポジウムを開催します。

テーマは「噴火湾の縄文人は何を食べていたかー貝塚研究の現在」と題して基調講演や事例報告などを行いますので、この機会にぜひ参加してみませんか。

●公開シンポジウム

▼日時 4月26日(土) 13時～17時

▼場所 カルチャーセンター講堂

▼内容 ①基調講演「貝塚研究の現在」

②事例報告③パネルディスカッション

●遺跡見学会

▼日時 4月27日(日) 9時～12時

▼見学先 北黄金貝塚、若生貝塚など

(詳細) 伊達市教育委員会社会教育課 ☎0142-1515

